

令和3年度

# 主要施策の成果に関する報告書

主要施策の成果に関する報告書

(令和3年度)

茨  
城  
県

茨 城 県

## 12 治安部門

### (1) 犯罪に強い社会づくり

#### ア 県民を守る治安体制の整備

##### ① 事業の目的

県内の治安情勢については、刑法犯認知件数、交通事故死者数がともに減少するなど、指標上では一定の改善がみられるものの、重要犯罪や住宅侵入窃盗、自動車盗及びニセ電話詐欺が高水準で発生していることに加え、人身安全関連事案等が増加傾向にあるなど、犯罪情勢は予断を許さない状況にある。

このような状況に的確に対応するため、治安活動の拠点となる警察施設の整備、警察機動力の確保のための警察車両の整備等県民を守る治安体制の整備を推進する。

##### ② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 3,973,404	千円 △199,829	千円 148,146	千円 427,461	千円 3,494,260	千円 3,436,985

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
警察署等 建設整備費	県	警察署の建替え 太田警察署建設工事（令和3～5年度） <国補（1／2）等>	千円 290,878 (国庫 308) (県債 277,900) (一財 12,670)	千円 290,567 (国庫 308) (県債 277,600) (一財 12,659)
交番・駐在所等 建設整備費	県	1 交番の建替え 3か所 (1) 水戸警察署茨城地区交番 (2) つくば警察署谷田部地区交番 (3) 取手警察署戸頭交番 2 駐在所の建替え 3か所 (1) 大子警察署左貫駐在所 (2) 大子警察署町付駐在所 (3) 境警察署矢作駐在所	419,377 (県債 411,100) (一財 8,277)	408,971 (県債 399,600) (一財 9,371)
警察車両 整備費	県	警察車両の更新 (1) パトカー等四輪車 40台 (2) 原動機付自転車 10台	92,187 (一財 92,187)	91,010 (一財 91,010)
一部新規 一般施設整備費	県	計画的な改修工事 (1) 警察本部庁舎空調自動制御設備 (2) 警察署外部等改修  (新型コロナウイルス感染症対応) 警察本部庁舎における感染防止対策に考慮し、 警察本部庁舎窓際空調機を更新して換気しやすい環境を構築 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span> <国補（10／10）>	767,135 (県債 676,300) (一財 90,835)	759,404 (県債 676,200) (一財 83,204)
			148,824 (国庫 148,824)	148,324 (国庫 148,324)

ヘリコプター 運航管理費	県	1 航空隊の体制 隊長 1人 飛行係 4人 整備係 3人 2 ヘリコプターの現況(令和3年度に国費更新) (1) 旧ひばり 平成11年度更新配備(10人乗り) 令和4年3月運航終了 (2) 新ひばり 令和3年12月更新配備(8人乗り) 3 飛行回数、時間 284回 389時間45分 4 更新機の導入準備 操縦・整備資格の取得、機体部品、整備資 機材等の導入 5 研修 操縦及び整備技術向上のための各種研修の実 施 <国補(1/2)等>	201,836 (国庫 10,930) (一財 190,906)	187,928 (国庫 8,295) (一財 179,633)
警察情報化 推進費	県	端末装置等の更新及び維持管理 (1) 警察情報管理システム 50業務225台 (2) 全庁ネットワークパソコン 1,475台 (3) 単体パソコン 2,486台	1,574,023 (その他 137,000) (一財 1,437,023)	1,550,781 (その他 137,000) (一財 1,413,781)
計			3,494,260	3,436,985

### ③ 事業の成果及び今後の課題

令和5年度に開庁を予定している太田警察署の建設工事に着手したほか、交番3か所及び駐在所3か所を建て替えるなど、警察施設の計画的な整備を推進した。

航空隊は、事件事故発生時の緊急配備や捜索活動等に出動し、被疑車両の追跡等、機動力を駆使し各種事案に対応した。

今後とも、治安情勢の変化に応じた体制を確立し、警察力の強化を図る必要がある。

## イ 安全安心なまちづくりの推進

### ① 事業の目的

県内の犯罪情勢については、刑法犯認知件数が平成15年から令和3年まで19年連続で減少しているものの、住宅侵入窃盗や自動車盗、ニセ電話詐欺など県民に身近な犯罪が多発している状況にある。

このような状況を踏まえ、県民に不安を与える住宅侵入窃盗や自動車盗、ニセ電話詐欺を重点犯罪として、犯罪情勢に即した抑止対策を強力に推進するとともに、茨城県安全なまちづくり条例に基づき、事業者及び県民との連携協力の下に、犯罪の起きにくい社会づくりを推進する。

### ② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 868,443	千円 △ 11,058	千円 —	千円 —	千円 857,385	千円 838,048

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
自動車盗対策 推進事業	県	自動車盗をはじめとする重要窃盗犯や重要犯罪の捜査に有効な緊急配備支援システムの更新整備 更新整備数 30か所	千円 215,237 (一財 215,237)	千円 213,213 (一財 213,213)
自動車盗対策 強化事業	県	自動車盗をはじめとする重要窃盗犯や重要犯罪の検挙態勢を強化するためのよう撃捜査支援装置の整備 整備数 30台 <国補(1/2)等>	21,753 (国庫 9,727) (一財 12,026)	20,396 (国庫 9,048) (一財 11,348)
ニセ電話詐欺 総合対策 推進事業	県	犯行グループの突き上げ捜査、だまされた振り作戦による現場検挙を推進するため、捜査用カメラ等の装備資機材を拡充 (1) 捜査用カメラ(リース) 40台 (2) 携帯電話解析機(リース) 12台 <国補(1/2)等>	25,001 (国庫 8,297) (一財 16,704)	24,842 (国庫 8,297) (一財 16,545)
組織犯罪 対策費	県	暴力団対策法に基づき、事業者の選任した不当要求防止責任者に対する講習の実施 (1) 委託先(公財)茨城県暴力追放推進センター (2) 講習回数 31回 (3) 受講者 771人	4,118 (一財 4,118)	2,287 (一財 2,287)
一部新規 安全安心 まちづくり 推進事業	県	1 パソコンや携帯電話等のメール機能を活用したネットワークシステム「ひばりくん防犯メール」による犯罪情報、交通安全対策などの情報提供 (1) 情報提供件数 2,092件 (2) 防犯メール登録者数(令和4年3月末現在) 107,129人 2 各種事件の発生状況、危険場所等を地図上で分析し、県警ホームページ上に犯罪マップ、地域安全マップ、不審者情報マップとして情報提供 3 街頭防犯カメラ設置自治体への補助 新規 設置台数 120台	44,092 (一財 44,092)	43,172 (一財 43,172)
少年非行 防止費	県	少年指導委員等のボランティア等と連携して、少年の健全育成のための活動を推進 (1) 少年問題に係る相談 取扱件数 1,270件 (2) 立ち直り支援活動等 対象少年等への継続的指導 123回(15人) (3) 街頭補導 不良行為少年補導人員 6,471人 (4) 広報啓発活動 ア 小・中・高等学校等における非行防止教室の開催 584回(66,457人参加) イ 少年非行白書の作成・配布 1,800部	5,018 (一財 5,018)	3,891 (一財 3,891)



## (2) 交通安全対策の強化

### ア 交通安全施設の整備

#### ① 事業の目的

安全で円滑な交通を確保するため、交通事故多発地域・路線、交通危険箇所等を重点とした交通安全施設の整備を行う。

#### ② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 3,476,400	千円 △ 78,712	千円 —	千円 19,900	千円 3,377,788	千円 3,365,257

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
特定交通安全施設整備費	県	信号機の集中制御化や系統化、老朽化した信号制御機の計画的な更新 (1) 信号機新設 17基 (2) 信号制御機更新 291基 (3) 道路標識、道路標示等 <国補(1/2)等>	千円 1,056,068 (国庫 508,977) (県債 500,000) (一財 47,091)	千円 1,056,068 (国庫 508,977) (県債 500,000) (一財 47,091)
交通安全施設整備費	県	交通事故多発交差点や生活道路及び通学路等の安全の確保のための信号機や道路標識、道路標示等の計画的な整備 (1) 信号機新設 8基 (2) 信号制御機更新 35基 (3) ズーン30の整備 4か所 (4) 道路標識、道路標示、維持管理費等 <国補(10/10)等>	千円 2,321,720 (国庫 140,932) (県債 650,000) (一財 1,530,788)	千円 2,309,189 (国庫 140,932) (県債 650,000) (一財 1,518,257)
計			3,377,788	3,365,257

#### ③ 事業の成果及び今後の課題

県内の交通信号機数は6,238基から6,253基(新設25基、廃止10基)と、前年比+15基(+0.2%)となり、うち視覚障害者用信号や歩車分離式信号等のバリアフリーに対応した信号機は1,058基から1,065基と、前年比+7基(+0.7%)となった。

今後とも、交通安全施設の重点的・効果的な整備を推進し、安全で円滑な交通を確保していく必要がある。

### イ 交通安全対策の推進

#### ① 事業の目的

県内の交通情勢については、人身交通事故発生件数が平成13年から令和3年まで21年連続で減少し、死者数が平成29年から5年連続で減少しているものの、高齢者の交通事故死者数が全死者数の約6割を占め、高い水準で推移しているほか、妨害運転・飲酒運転等を行う悪質・危険な運転者への対策など取り組むべき課題も多い。

このような状況を踏まえ、交通事故の実態や地域の実情を踏まえた高齢者の交通事故防止対策や交通指導取締りを実施するなど、各種交通安全対策を推進する。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 2,333,062	千円 △91,502	千円 —	千円 —	千円 2,241,560	千円 2,181,192

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
交通安全推進費	県	1 各季交通安全運動期間中の広報啓発活動 (1) 春の全国交通安全運動 ア 運動期間                    4月6日～15日 イ 安全教育                    135回 11,832人 ウ 出動数                    2,798人(1日平均) (2) 秋の全国交通安全運動 ア 運動期間                    9月21日～30日 イ 安全教育                    25回 1,901人 ウ 出動数                    1,803人(1日平均) 2 交通安全思想の普及・啓発 広報活動                    チラシ等 114,360枚	千円  9,495 (一財 9,495)	千円  7,227 (一財 7,227)
交通指導取締費	県	1 交通取締り機材の計画的な整備 (1) 定置式レーダースピードメーター 2台 (2) 記録式飲酒検知器 3台 (3) 半固定式速度違反自動取締装置 1台 2 飲酒運転をはじめとする悪質・危険な違反に重点を置いた交通指導取締りの実施(令和3年中) (1) 交通指導取締り件数 107,398件 ・ 主な内訳 ア 酒酔い・酒気帯び運転 977件 イ 速度超過 26,904件 ウ 一時不停止 27,258件 エ 信号無視 2,378件 (2) 妨害運転等取締りの実施 ア 妨害運転 3件 イ あおり運転関連違反 524件 (車間距離不保持177件、外347件) 3 「茨城県暴走族等による暴走行為の防止に関する条例」に基づく暴走族相談員による相談業務、暴走族への加入防止や離脱の支援(令和3年中) (1) 暴走族相談・加入防止 68回 (2) 街頭活動 51回 <国補(1/2)等>	64,520 (国庫 32,177) (その他 166) (一財 32,177)	61,197 (国庫 30,598) (その他 -) (一財 30,599)
違法駐車総合対策推進費	県	1 放置駐車違反取締り関係事務の民間委託 (1) 委託先 (株)日警外3件 (2) 実施警察署(ブロック運用) ア 水戸署 イ 日立署、ひたちなか署 ウ 土浦署、牛久署	170,443 (その他 40,207) (一財 130,236)	169,142 (その他 47,041) (一財 122,101)

		エ つくば署、竜ヶ崎署、取手署 (3) 放置車両確認標章取付件数 1,336件 2 放置駐車違反管理システムの運用		
一部新規 自動車運転 免許事務費	県	運転免許の更新等を迅速に処理するため、運転 免許事務の一部（更新、再交付、記載事項変更、 更新情報提供）を委託 (1) 委託先 (一財)茨城県交通安全協会 (2) 更新・再交付・記載事項変更 542,514件 (3) 更新情報提供 469,768件	671,154 (その他 671,154)	640,773 (その他 640,773)
		(新型コロナウイルス感染症対応) 運転免許センターにおける感染防止対策のため の講習会場の整備 新規 <国補 (10/10)>	101,917 (国庫 101,917)	101,915 (国庫 101,915)
自動車運転 免許講習費	県	交通情勢や安全運転の知識等を習得させる講習 及び悪質な運転者等の危険性を改善するための講習 等の実施 (1) 委託先 (一財)茨城県交通安全協会外31件 (2) 受講者数等 ア 更新時講習 344,800人 イ 高齢者講習 103,063人 ウ 認知機能検査 63,500人 エ 安全運転管理者等講習 9,248人 オ 取得時講習 3,287人 カ 停止処分者講習 3,600人 キ 違反者講習 1,350人 ク 指定自動車教習所指導員講習 804人 ケ 取消処分者講習 450人	944,035 (その他 944,035)	931,563 (その他 931,563)
自動車 保管場所 証明事務費	県	1 自動車保管場所法に基づく保管場所証明書を 発行するための現地調査及びデータ入力業務 の委託 (1) 委託先 (一財)茨城県交通安全協会 (2) 委託件数 ア 現地調査 224,683件 イ データ入力 241,957件 2 「自動車保有手続のワンストップサービスシ ステム」のうち、自動車保管場所証明に係るシ ステムの運用	279,996 (その他 279,996)	269,375 (その他 269,375)
計			2,241,560	2,181,192

### ③ 事業の成果及び今後の課題

令和3年中の人身交通事故発生件数は5,929件で、前年比△120件（△2.0%）と平成13年から21年連続で減少し、交通事故死者数は80人で、前年比△4人（△4.8%）と平成29年から5年連続で減少した。

また、悪質・危険な違反に重点を置いた交通指導取締りとして令和3年中に107,398件検挙し、運転者等の教育として令和3年度に更新時講習等各種講習を530,102人に対し実施した。

今後とも、総合的な交通安全対策をきめ細やかに推進していく必要がある。